

女性の祈りインターナショナルニュースレター



国際ユナイテッドペンテコステ教会 2021年 3月



[Ladies Prayer International on Facebook](#) を訪問して「いいね」ボタンを押して下さい！

祈りは心を変える

By エイミー・ストゥーブス



「どんなことをしてでも、主よ！」。これは、私の勇敢な義理の母が、彼女の一番年上の息子が、安全な箱舟から外に出てしまった20年の間祈った祈りです。彼女は大いに信頼し、一生懸命祈り、激しく戦いました。今日、彼女のその「男の子」は、日曜学校の監督であり、賛美のチームで歌い、神の栄光のために神に自分自身を用いさせています。私は、彼が救いに至ったのは、彼のお母さんが「どんなことをしてでも、主よ！」と祈り、神に信頼したからであると確信しています。彼女は彼を、祈りで家に帰らせたのです。

私は見て学びました。そして、私がしたことは良いことでした。今私には、信頼して「どんなことをしてでも、主よ。」と祈るお母さんを必要としている娘がいるからです。主は、私が握りしめて離さない、約束となる御言葉を与えて下さいました。「あなたの将来には希望があり、あなたの子供たちは自分の国に帰ってくると主は言われる。」(エレミヤ31:17)。私の娘は家に帰ってくる。効果のある熱心な祈りは、彼女を帰らせるのです。

エゼキエル36:26-27が、私の職場の机の上にあります。それがそこにあるのは、私が毎日子供たちの上に、それを覚えて祈ることが出来るようにです。「わたしは新しい心をあなたがたに与え、新しい霊をあなたがたの内に授け、あなたがたの肉から、石の心を除いて、肉の心を与える。わたしはまたわが霊をあなたがたのうちに置いて、わがために歩ませ、わがおきてを守ってこれを行わせる。」

暗いとき祈って下さい。怖いとき祈って下さい。無駄に見えるとき祈って下さい。希望が薄れ消えそうなとき祈って下さい。そして、希望が回復の赤い熱い炎を炸裂するときも祈って下さい。産みのお母さん、養母のお母さん、霊的お母さん、あなたの祈りには力があります！あなたの祈りは家への道を照らします。

注記: エイミー・ストゥーブスは、神の御国に活発に携わっています。教役者の妻であり、母親であることに加えて、ディリージ

祈りの旅

By クリスタル・ウォレス



私は旅が大好きです！よく知っている場所を旅して、友人や家族に会うことが大好きです。けれども、新しい場所を旅して、新しい光景を見ることも大好きです。宣教師としての恩恵の一つは、旅をすることが出来るということです。ここ数年、デピュテーションの間に、私たちは31の州と2つの地方を訪れました。私たちはまた祝福されて、9つのヨーロッパの国々を旅することが出来ました。

ある旅は家族や友人たちと行き、多くの素晴らしい思い出をつくることが出来ました。けれども多くの場合、私は単独で...一人で...私だけで行かなければなりませんでした。それはいつでも楽しいものではありませんでした。しかしながら、すべての旅の経験には、何か良いことがあるものです。

私の幼少期のお気に入りの写真の一つは、私と私のお父さんが、ソファの側にひざまずいて祈っている写真です。私はその時3～4歳でした。その写真は、私の祈りの旅が幼い頃に始まったことは、何と祝福していることかを、私にいつも思い出させてくれる写真です。

私の人生をとおしてこの特別な旅は、プロセスであり教育でした。時には途中で道が悪かったり、回り道をしたり、誤って曲がったり、故障したり、と苦しい時もありました。時には、嵐が旅路を遅らせてしまうように見えるときもありました。他の時には、天気は完璧で、道路はきれいで渋滞もなく、旅は私を新しい高さへと上昇させました。

多くの場合、私は一緒に旅をしてくれる家族や友人たちがいてくれて、祝福されて来ました。それらは、とても大切な時です。けれども、状況により一人で旅をしなければならない時もありました。イエス様も同様でした。

「そして群衆を解散させてから、祈るためにひそかに山へ登られた。夕方になっても、ただひとりそこにおられた。」(マタイ14:23)

「朝はやく、夜の明けるよほど前に、イエスは起きて寂しい所へ出て行き、そこで祈っておられた。」(マルコ1:35)

(マルコ6:46、ルカ6:12、ルカ5:16、ルカ9:18、マタイ6:36-39も参照して下さい。)

時として旅は、長く、孤独で苦しいように思えるでしょう。けれども、祈りにおいては、私は疑いから信仰へ、戦いから勝利へ、弱さから強さへ、病いから健康へ、恐れから確信へと旅をしました。これらのすべては、私には祈りについて話すだけではなく、家で実際に祈っていたお母さんとお父さんがいたおかげです。そして、彼らは私がとても幼い頃に、私自身の祈りの旅を始めさせたのです。

「子をその行くべき道に従って教えよ、そうすれば年老いても、それを離れることがない。」(箴言22:6)

敵の地から家へ

By ワンダ・チャベス



私は、私の古い聖書の中に、コート IRAK 行きへの指令書をまだ持っています。その涙でぬれた跡のある紙を一目見るだけで思い出すのは：

- 神はいつも「はい」とは言わない
- 私には信頼の問題があった

私には、神はその指令を取り消して下さる、という信仰がありました。神は私の息子を、家に留めて下さると。私の信仰はそこで終わってしまいました。私は、もしコート IRAK 侵略の最中に戦争にいつても、彼が無事に家に帰ってくることを信頼していませんでした。それでも彼は行ってしまいました。

祈ることが出来ず何日も過ぎて行きました。私は怖く心配していました。けれども、正直に言います。私は怒っていたのです。なぜ今更、神と話さなければならないの？彼は私が祈り断食していた去った4ヶ月の間、明らかに私を無視していたのに。

ついに私はむせび泣き、私の落胆を注ぎ出し、神が私の信頼の問題を見せて下さったときに悔い改めました。神は、コートを無事に家に帰して下さることを私に保証して下さいました。神には、この戦争という時の中で、コートのために計画と目的があったのです。

私は来年のためにとっても変な祈りをしました。放蕩息子のために祈っているあなたに、その祈りを分かち合ってもいいのでしょうか？実際には、あなたの子供は異国の地に戦争に行っています。もしかしたら、行方不明になっているかもしれません。あるいは捕虜になっているかもしれません。そこは神から遠く離れている場所であるとあなたは感じるでしょう。けれども、そんな場所があるのでしょうか？もし、神が遍在であられるなら、どのようにして彼から遠く離れることが出来るのでしょうか？

神は私に、コートが無事に帰って来ることを保証して下さいましたので、私の祈りは彼の肉体的な安全ではありませんでした。私の祈りは、常に彼の気力や精神的な健康のためでした。私はそのことのために必死にとりなしていましたが、それがなぜなのか理解していませんでした。ついに私は、気力と言う言葉の定義を調べてみました。「道徳的、あるいは勇敢、鍛練、進んで苦難を耐える精神状態。自分自身や他の人達の信仰を保持する能力。」

私はマタイ 10 : 28 がこう言っているのを覚えています。「また、からだを殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐れるな。むしろ、からだも魂も地獄で滅ぼす力のあるかたを恐れなさい。」私は、私の息子の「全て」に家に帰って来て欲しかったのです。私は、敵がコートの思いにダメージを与えることがないように、あるいは息子に彼の値打ちや価値に疑問を持たせるようなことがないように、敵を叱りつけ脅かしました。私は、孤立、鬱、孤独の感情に敵対して祈りました。私は彼の霊が励まされるように祈りました。

あなたがあなたの放蕩息子のために祈るとき、これと同じことを祈って下さい。彼らの思いをイエスの血で覆って下さい。ルカ 15 章にある放蕩息子の物語りの中においても、彼が本心に立ちかえったとき、彼は父の家がどんなに良かったかを思い出しました。彼は家を出て、皆んなをがっかりさせました。けれども、その間もずっと彼の気力は滅ぼされることはありませんでした。あなたの祈りの方向を変えて下さい。あなたの子供はこの戦争から無事に家に帰って来ます。

「主はこう仰せられる、『あなたは泣く声をとどめ、目から涙をながすことをやめよ。あなたのわざに報いがある。彼らは敵の地から帰ってくると主は言われる。』（エレミヤ31：16）」

注記:ワンダ・チャベスと彼女の夫ジェフは、1981年以来ノースカロライナ州の、スプリングレイクのユナイテッドペンテコステ教会で牧会チームの一員として仕えて来ました。ワンダは、ノースカロライナレディーズミニストリーの会長であり、ヘルス&サーモグラフィの写真(有限会社)の所有者です。

彼が来るまで占領する

By エイミー・スタッテン



今日の世界において、敵の攻撃によって打ちのめされることはとても簡単なことです。実際それは、予想されていることです。どこを見渡しても、そこには病いや困難があります。世界中の人々が、鬱病、自殺、精神疾患などの、これまでになかったほど高い比率を体験しています。

最も冷静なクリスチャンの女性であっても、手をあげて降参してしまうに十分なほどです！私も時々、あきらめてしまいたいような気持ちになったことを認めます。そのとき私は、ルカ19：12-13を読み、もしかしたら私は、「わたしが帰って来るまで、これで商売(occupy 占領)をなさい。」の意味を、理解し損ねていたかもしれないことに気がきました。

私たち家族が牧師への召しに応えたとき、私は何が起こるかを知っていると思っていました。けれども、私はすぐに、私が知っていると思っていたことは十分ではなかった、ということに気がきました。私の祈りの人生は、私たちが通る戦いには十分ではありませんでした。私の情緒的安定性は、私たちが直面する困難に対して十分ではありませんでした。私は疑いと恐れで揺るがされていました。

これは私が最も低いところにいた時に神が与えて下さったものです。強い国が敵国に軍事的勝利を治めるとき、それは単に戦いの始まりにすぎない。強い国は、その国の住民が自由を獲得するまで、敵の領土を占領しなければならない。つまり、戦いを戦い、戦地を去るのでは十分ではないということです。けれども、私はそうしていたのです。

レイモンド・ウッドワードの効果的な熱心な祈りのレッスンに出会ったのは、私が個人的な困難をおっている時でした。「民主主義よりも独裁主義を好む思想を持つ者たち、彼らの過程を妨害し、前進を阻むこと決してゆるさない者たちに対抗し、不安定な平安を保ち、芽生えたばかりの自由を守るためには、揺るがない決意と不屈の努力が必要である。勝利は宣言されたかもしれない、しかし、占領する力は勝利が施行されるのを見なければならぬ。」

占領する力は国の形成を変えます。意図的であろうとなかろうと、占領された国は占領した者たちの文化や習慣を取り入れて行きます。

神があなたを召されたとき、それは過ちや過失ではありませんでした。あなた特有のスキル、あなたの個性、そして、そうですあなたの欠点(ひび/割れ目)も共に、あなたを召したのです。彼が帰って来るまで占領するため、彼はあなたを召したのです。

皆さんがどうかは知りませんが、私たちの世界がこのようなひどい時を通過している間にも、私の信仰はとても成長しました。なぜなら私は、私の神は真に力強い方であり、私の味方であることがやっと分かったからです。

私たちは私たち自身を敵に攻撃されている者として見ることを止めて、形勢を逆転させる時ではないで

しょうか。武装して下さい。あなたが出て行くとき、あなたの王はあなたと共にいることを知って、確信をもって出て行って下さい。

占領して下さい。- ただそうしないで下さい。- 力強い神の御手に頼る力となって下さい。占領し、あなたの地域の文化を祈りの力で変え、あなたの行く先々で聖霊の油注ぎを拡散して下さい。

注記: エイミー・スタッテンは、デビッド・スタッテンと結婚し、彼らは娘のオープリーの助けと共にアリゾナ州グループで牧会しています。エイミーは、かつてジャーナリストをしており、現在は郡の補助金管理とアリゾナ州レディーズミニストリーの書記をしています。彼女は歴史的な家や装飾、夫との散歩、リサイクルショップでの買い物大好きです。

編集長より



神は大いなることをなさっています！

神は多くの扉を開いて下さり、今ではこのニュースレターは英語、アラビア語、中国語、チェコ語/スロバキア語、オランダ語、フランス語、ジョージア語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、イタリア語、日本語、韓国語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、スペイン語、スワヒリ語、スウェーデン語、タガログ語、タイ語、クリー語、スリランカのシンハラ語で入手できます。

どうか、もっと翻訳者が与えられるように祈って下さい。

上記の翻訳版の入手をご希望される方は、どうか

LadiesPrayerInternational@aol.com に依頼して下さい。私たちは喜んであなたを郵送先名簿に登録致します！

[女性の祈りインターナショナルのフェイスブックを訪問し「いいね」ボタンを押して下さい!](#)



祈りのチームリーダーの皆さん、どうか女性の祈りインターナショナルのフェイスブックを訪問して下さい！
また、この無料のニュースレターを [Ladies Prayer International](#) から読むように、あなたのグループを招待するか、LadiesPrayerInternational@aol.com に eメールで依頼して下さい。

どうかこの情報をあなたの教会、友人、そして家族に分ち合ってください。この祈りのミニストリーに参加して下さい、そして無料ニュースレターとフェイスブックページのことを言い広めて下さり、ありがとうございます！



私たちは... 1999年以來: 女性の祈りインターナショナルは、毎月第一月曜日に、彼女たちの子供達と教会の子供達、そして地域のために一致して祈る世界中の女性たちによって成っています。

私たちの使命... 私たちは、この世代と更に先の世代の靈的保全と、前の世代の靈的回復へ献身します。

私たちの必要... 毎月第一月曜日に団結して、子供達のために祈る献身的な女性。

祈りの3つの優先事項...

- 私たちの子供たちの救い (イザヤ 49:25; 詩篇 144:12; イザヤ 43:5-6)
- 子供たちが責任を持つ事が出来る年齢に達したら、彼らが信仰を自分自身のものとするように。 (第一ヨハネ 2:25-28; ヤコブ 1:25)
- 子供たちが主の収穫の働きに携わるように。 (マタイ 9:38)